

『やればできる』の意味は・・・」

校長 根本愛子

「やればできる」という言葉を、一度は耳にしたことがあるのではないのでしょうか。この言葉を聞いて、どんな気持ちを抱くのでしょうか？「その通り！」と思う人もいれば、「そうはいっても」と感じる人もいるでしょう。

私が学生時代に、ある友人が「これって、成功した人が、上から目線で『もったがんばれ、手を抜かないで！』と言っている言葉に聞こえる。でもがんばったってできないこともあるよね！」と言いました。それを聞いた恩師が『やればできる』は成功をめざすだけの意味ではないと思うよ。私だって、がんばっても失敗が多く、やってもできないことばかりだった。でもずっと挑戦はし続けてきた。どんなことでも、逃げずに挑戦すれば、たとえ失敗しでも必ず成長できる。『やればできる』とは、成長をめざす言葉だと思うよ。」とおっしゃいました。その言葉に私は、目から鱗が落ちる思いがしました。「『やればできる』とは『やれば成長できる』ということなんだ。成功だけが大切なのではなく、挑戦することに価値があるんだ！」と。卒業して教職に就き、そういう思いで、今日まで生徒たちと向き合い、語りかけてきました。

さて、今週末には1学期の終業式を迎え、44日間の夏休みが始まります。「閑かさや岩にしみ入る蝉の声」という松尾芭蕉の有名な一句がありますが、あまりの暑さに蝉も鳴き声を忘れていたようです。猛暑や異常気象が続きますが、夏休みだからこそできる学びや体験にたくさん挑戦してほしいと思います。そして、将来ふと中学時代を振り返ったとき、「そういえば中学〇年生の夏休みは・・・」と心に残るような時間を過ごしてくれたら嬉しく思います。9月1日（月）の始業式、心も身体もひとまわり成長した関城中の生徒たちに会えることを楽しみにしています。

1学期も、お子様の健やかな成長を温かく見守り、本校の教育にご理解とご協力をいただいた保護者の皆様、地域の皆様、ありがとうございました。

今月の関中フード

○心の貯金通帳は、見えないうちに貯まってい

結果だけでなく、「やってみよう」と決めて行動したこと、そしてその努力は、見えないうちに積み重なる“心の貯金”です。

それはかけがえのない財産となり、困難に直面したときや新しいことに挑戦するとき、大きな自信となって背中を押してくれるでしょう。